

実践のまとめ（第2学年 社会科）

十日町市立十日町中学校 教諭 藤楨 悠太

1 研究テーマ

自分の考えを表現する生徒の育成

～単元を貫く学習課題の追究における表現活動の位置付けと思考ツールの活用～

2 研究テーマについて

(1) テーマ設定の意図

学習指導要領（平成29年3月告示）では、「社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、公民としての資質・能力の基礎を育成すること」を社会科の目標としている。思考力、判断力、表現力の観点では、「社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力」の育成が目標となっている。

これらの観点から、これまでの授業を振り返ると次の二つの課題がある。一つ目は、生徒が社会的な見方・考え方を働かせて表現する力が十分に育っていないことである。これは、生徒が単元のまとまりを通して思考したことを表現する活動が不足していたことに要因がある。二つ目は、生徒が複数の資料から読み取ったことをつなげて考えることや、級友の考えを自分の考えにつなげることが苦手ということである。資料の読み取り時に教師が先に説明してしまったり、生徒同士の対話を通して考えを深める活動を十分に設定できなかつたりしたことに要因がある。以上の二つの課題を解決するため、本テーマを設定し、テーマ達成のための具体的な手立てを実施することで、生徒の資質・能力を育成していく。

(2) 研究テーマに迫るために

① 単元を貫く学習課題の追究における表現活動の位置付け（単元シート）

生徒の表現力を高めるためには、毎時間、単元を貫く学習課題の追究における自分の考えを表現させることが大事である。そこで、毎時間の授業での自分の考えを、単元シートにまとめさせる。生徒は、毎時間の授業で少しずつ情報を加えることで、学習の履歴を自分の言葉で表現することとなる。それにより、級友との学習活動を進める時や、最終的な自分の考えを論述する時に、自分の考えを表現しやすくなる。

② 思考ツールの活用

生徒の表現力を引き出す手立てとして、タブレットの思考ツールを活用する。例えば、級友との対話を通して考えを深める授業では、「ダイヤモンドランキング」を活用する。異なる考えの生徒と、思考ツールを手立てに意見交換をすることで、多面的・多角的に考えられるようになり、より自分の考えに広がりや深まりをもたせて表現できるようになる。

(3) 研究テーマに関わる評価

次の二つの観点から評価を行う。

① 単元を貫く学習課題の追究における表現活動のB評価以上の生徒が90%以上

（ワークシート）

② 複数の資料から読み取ったことを文章で答える思考力、判断力、表現力の問題の無答率10%以下（前回定期テスト無答率25%）、正答率70%以上（同左47%）（定期テスト）

3 単元と指導計画

(1) 単元名

欧米における近代化の進展（新しい社会 歴史 東京書籍）

(2) 単元の目標

- ・欧米諸国における市民革命や産業革命に関する資料を適切に読み取って、欧米諸国が近代国家を成立させたことを理解する。
- ・欧米諸国における市民革命や産業革命による政治や社会の変化に着目し、近代国家の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。
- ・単元を貫く学習課題について粘り強く追究し、主体的に資料を読み取り、自分の考えを表現する。

(3) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・欧米諸国における市民革命や産業革命に関する資料を適切に読み取って、欧米諸国が近代化した国家を成立させたことを理解する。	・欧米諸国の市民革命や産業革命での変化に着目し、事象を相互に関連付けるなどして、近代国家の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	・単元を貫く学習課題について粘り強く追究し、主体的に資料を読み取り、自分の考えを表現しようとしている。

(4) 単元の指導計画と評価計画（全8時間、本時7／8時間）

次(時数)	学習内容	学習活動 ■予想される生徒の反応	主な評価規準と方法
1次 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ペリー来航について ・近代化とは 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペリー来航に関する資料から、当時の日本がアメリカとの力の差に圧倒されたことを理解する。 ※資料：「ペリー上陸」、「日本人がえがいたペリー」、狂歌 ・欧米諸国が「近代」という時代になったことを理解し、「近代化」という言葉から知っていること、イメージすることを班内であげる。 ※資料：教科書巻末の年表 思考ツール：ウェブマッピング ■武器や文化が進化する、政治の発展 産業の発達、貿易が活発に など ・単元を貫く学習課題を設定する。 	<p>知・技 資料を適切に読み取ることができている。 【観察】</p> <p>態主体的に自分の考えを表現しようとしている。 【観察】</p>
<p>単元を貫く学習課題：近代化とは、どのような変化なのだろうか。</p>			
	<ul style="list-style-type: none"> ・革命を支えた思想 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ諸国で、革命を支える新しい思想が生まれたことを理解する。 	

2次 (2)	◎イギリスやアメリカ、フランスでは、革命によってどのような変化があったのでしょうか。		
	・イギリス、アメリカ、フランスの革命	・4人班で、一人1国を担当し、革命が起こった背景、政治や社会の変化を、資料から読み取ってまとめる。	知・技 資料を基に、調べたことをまとめている。 【観察】
	(3) 前回の続き	・班内で調べてまとめたことを共有する。	知・技 わかったことを表にまとめている。 【単元シート】
	(4)	◎フランス革命は、ヨーロッパ諸国にどのような影響を与えたのでしょうか。	
	・国民意識の高まり	・ナポレオンのヨーロッパ支配後に、自由・平等・独立の考えが各国に広まり、徴兵制や義務教育の普及、政治参加が進み、国民としての一体感が高まったことを、教師の発問を通して考え、資料を基にまとめる。	思・判・表 ・考えたこと、資料を基に、調べたことをまとめている。 ・わかったことを表にまとめている。 【単元シート】
(5)	◎産業革命は、欧米諸国にどのような変化を与えたのでしょうか。		
	・産業革命 ・資本主義の発展と社会問題の発生 ・社会主義	・産業革命による変化（産業の進展、資本主義の誕生、社会問題の発生による社会主義の芽生え）を、資料を基にまとめる。	知・技 ・資料を基にまとめている。 ・わかったことを表にまとめている。 【単元シート】
(6)	◎欧米諸国の近代化において、どのような変化があったのか振り返ろう。		
	・近代化による変化	・単元シートを基に、近代化による変化を「〇〇が△△に変わった」や「□□ができた」という文章で考え、ロイロノートのカードに記入する。 ・カードを班内で共有させ、発表させる。	思・判・表 近代国家の変化を考察し、文章にまとめる。 【単元シート】
3次 (7) 本時	◎欧米諸国の近代化とは、どのような変化なのかまとめよう。		
・近代化による変化についての意見交換	・小グループでの意見交換を通して、欧米諸国における近代化について、多面的・多角的に考察し、根拠に基づいて適切な文章で表現する。	思・判・表 近代化による変化を多面的・多角的に捉え、文章にまとめる。 【観察、単元シート】	

(8)		・級友との対話の中で、学習課題について粘り強く追究し、主体的に自分の考えを表現する。	態主体的に自分の考えを表現しようとしている。 【観察】
	◎近代化が進む中で、ロシアやアメリカでどのような変化があったのでしょうか。		
	・欧米諸国の統一と発展 ・ドイツ、イタリア統一 ・中南米諸国の独立	・ロシアの領土拡大、アメリカの発展、ドイツやイタリアの統一、南米諸国の独立について理解する。	知・技 資料を基に、内容を理解する。【観察】

4 単元と生徒

(1) 単元について

本単元は、17～19世紀にかけて、欧米諸国が市民革命によって専制政治を倒し、立憲君主制や議会政治を確立させたことや、産業革命を成功させ、経済力を高めていったことなど大きな国の変化を学ぶ。啓蒙思想の影響を受けて市民革命が起こり、それまでの専制政治から、議会政治や憲法（法律）に基づく政治に変化したり、自由や平等といった人権の思想が社会に浸透したりしていった。産業革命では、資本主義経済が成立し、生産が大幅に向上する一方で、労働問題や環境問題などの新たな社会問題が発生した。それらの変化を毎時間、単元シートの表に整理し、単元の後半に「近代化による変化」について考察し、他者と意見交換をする場を設定することで、近代国家への変化を多面的・多角的に考察できるようにしたい。欧米諸国の近代化の発展の歴史が、その後の日本の歴史（幕末）に影響を及ぼすことを踏まえて、学習を進めていきたい。

(2) 生徒の実態

本学級の生徒は、男子20人、女子16人、計36人である。学習に対して、熱心に取り組む姿があり、社会科への興味・関心が高い。教研式標準学力検査（NRT）では、全国平均率を上回っているが、思考・判断・表現の観点が高い

観点	全国比	偏差値平均
知識・技能	105(109)	50.8
思考・判断・表現	97(104)	(-52.2)

()内は学年の平均

という課題がある。学年平均よりも数値が低く、5段階評価で「2」の生徒が5人に1人存在する。これまで、教師の発問に対して、生徒が思考する場を設定したり、授業開始時の5問チェック（基礎用語や文章題の小テスト）で生徒が考えを表現する場を設定したりしてきた。しかし、自分の考えを表現する力が十分に高まっておらず、対話的な活動では、級友の考えを踏まえて自分の考えを深めることができていない。手立てを講じ、生徒の表現活動を適切に位置付けることで、表現力を育てる。

5 本時の展開（令和4年10月26日実施）

(1) ねらい

- ・小グループでの意見交換を通して、欧米諸国における近代化について、多面的・多角的に考察し、根拠に基づいて適切な文章で表現する。（思考・判断・表現）
- ・級友との対話の中で、学習課題について粘り強く追究し、主体的に自分の考えを表現する。（主体的に学習に取り組む態度）

(2) 展開の構想

- ・ 単元シート及び思考ツールのダイヤモンドランキングを用いて、近代化による変化の順位付けをすることを通して、単元を貫く学習課題「近代化とは、どのような変化なのだろうか。」について、自分の考えを広め、深められるようにする。

(3) 展開

時間 (分)	学習活動	教師の働き掛け ■予想される生徒の反応	□評価 ○支援 ◇留意点
5	①各班で挙げられた変化の内容の一部を学級全体と共有する。 ②課題について確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時に各班が作成したカードの一部を紹介する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ■ 専制政治が議会政治に変わった。 ■ 自由・平等の人権が広まった。 ■ 手工業が機械工業になった。 ■ 蒸気機関で動く鉄道ができた。 ■ きまりがない状態から憲法ができた。 ■ 選挙権が与えられた。 ■ 徴兵制で武力を強めた。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の学習課題について説明する。 	◇ロイロノートの共有ノート
<p>◎学習課題：欧米諸国の近代化とは、どのような変化なのかまとめよう。</p>			
20	③思考ツールの使い方について理解する。 ④班で意見交換をしながら、共有ノート内で、カードをランキングにまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダイヤモンドランキングについて説明する。 ・ ダイヤモンドランキングに、カードを並べて順位付けさせる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>■</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">産業革命</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">議会政治</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">徴兵制</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">人権</div> </div> <p>A：武器や製品を大量生産できるようになった変化が一番重要な。 B：そして、常に戦える軍があることが国にとって必要だよね。 C：国民が政治参加していないと、国の仕組みを変えることは難しい。 D：人権は、全ての変化のベースになっている感じ。近代化を支えた感じ。</p> </div>	◇ロイロノートの思考ツール 態学習課題について粘り強く追究し、主体的に自分の考えを表現することができる。（観察） ○生徒の様子を見て、上位には「影響の大きさ」を基準にして選ぶように指示する。
15	⑤指名された班は、意見交換の結果を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幾つかの班を指名し、指名した班のランキングをモニターに提示する。 ・ 発表内容について質問したり、補足したりする。 	思・判・表 対話を通して、自分の考えを広げているか。（観察）
10	⑥まとめ ⑦振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元シートの「論述」欄に近代化の定義をさせる。 ■ 近代化において、産業革命、人権、議会政治が重要だと考える。産業を発展させることで国の経済や武器が大きく発展し、強い国になるからである。また、人権が保障されたり、議会政治で国民の考えが政治に生きるようになると、より発展が進むと考えた。 	思・判・表 他者の考えを踏まえ、根拠に基づいて自分の考えをまとめられているか。（単元シート）

(4) 評価

- ・振り返りの際に、欧米諸国の近代化による変化について、順位付けや発表を通して多面的・多角的に捉えたことを基に、表現できている。(思考力、判断力、表現力)
- ・学習課題について粘り強く追究し、主体的に自分の考えを表現することができている。(主体的に学習に取り組む態度)

6 実践を振り返って

(1) 授業の実際(指導の実際)

① 近代化のイメージをもつ(1次)

「ペリー上陸」等の資料から、当時の人々の心情を考えることを通して、当時の人々がペリーを恐れていたことを読み取らせた。そこで、アメリカが「近代化」を進めたことを説明し、「近代化とは、どのようなことなのだろうか?」と生徒に投げ掛け、タブレットのイメージマップに「近代化」のイメージを各班でまとめさせた。「武器や文化が進化する」や「工業(産業)が発展する」というイメージをもつ生徒が多く、「政治が民主的になる」と政治面での国の変化を挙げる生徒もいた。そこで、単元の学習課題「近代化とは、どのような変化なのだろうか」を提示した。

② 市民革命、産業革命について調べ、まとめる(2次)

1次で挙げられた生徒のイメージを基に、学習課題「近代化によって、政治や社会はどのように変化したのだろうか」を提示した。生徒は、イギリス、アメリカ、フランスの市民革命について、班内で担当を決めて、主に革命が起こった理由と結果を調べ、まとめた。「絶対王政から議会という国民の代表が政治の中心になった」、「身分があったけど、革命によって自由や平等になった」など、政治や社会面での変化に気付いた記述があった。

産業革命については、教師の発問に対する生徒の発言を基にまとめた。授業後に、生徒が単元シートに「蒸気機関により、工場制機械工業で大量生産ができるようになった」、「資本主義という効率的な経済のしくみが生まれた」などの変化を挙げた。

③ 変化を挙げて、ランキングする(3次)

1次、2次で書いた単元を貫く学習課題についての考えを基に、本時では、「欧米諸国の近代化とは、どのような変化なのかまとめよう。」という学習課題を提示し、その手立てとしてロイロノートの思考ツール「ダイヤモンドランキング」を活用した。近代化において、どの変化がより国の発展につながるか、班内でランキングを議論させ、班ごとに発表させた。最後に、単元を貫く学習課題について、自分の考えを論述させた。

(2) 研究テーマに関わって

研究テーマに関する評価結果は以下のとおりである。

	評価目標	結果
1	「単元を貫く学習課題の追究における表現活動のB評価以上の生徒が90%以上」	B評価以上87%(目標-3%) (A=11人、B=16人/31人)
2	「複数の資料から読み取ったことを文章で答える思考力、判断力、表現力の問題の無答率10%以下(前回定期テスト無答率25%)、正答率70%以上(同左47%)(定期テスト)」	定期テストの同様の問題 無答率13%(目標-3%) 正答率30%(目標-40%)

① 単元を貫く学習課題の追究における表現活動の位置付け(単元シート)

生徒Aは、1次で近代化のイメージを「(政治が)民主的になること」と捉えた。その後、市民革命について調べ、単元シートに「国王中心だったけど、少しずつ国民にも寄り添

った世の中に变化した」や「徴兵制や義務教育が始まって国民がまとまっていった」などより具体的に捉え、近代化による変化について、自分の考えを単元シートに蓄積していった(図1)。

本時の授業では、生徒Aのように、単元シートに蓄積した事を基に発言する生徒の姿が多く見られた。

単元シート 近代化とは、どのような変化なのだろうか？

本時学習では、近代化によりどのように変化したのでしょうか。長年の学びを基にまとめてみよう。

	どのような変化が起きたのだろうか (Xが△△に変わった、〇〇ができた)	どのような影響があったのだろうか (変化のし、面や現代とのつながりなど)
イギリスとアメリカ、フランスの革命の総括	「国王中心だったけど、少しの国民が力をもち、代議制に変わった。」	「国民の意見もとり入れられるようになった。」
産業革命のヨーロッパ圏における変化	「のびのびと産業が伸びる。徴兵制、義務教育。」	「国民が力をもち、代議制になった。」
産業革命と資本主義	「工場が立ち上がり、輸送手段が改良された。」	「さくばらした。」

図1 単元シートの一例

② 思考ツールの活用

本時では、個人で挙げた「近代化による変化」を持ち寄り、それらの中で、より国の発展にとって重要なものを、班内でランキングした。生徒Aの班では、「議会政治」と「産業革命」のどちらが上位になるかで議論が停滞していた。そこに、教師が「影響力の大きさを基準に考えよう」と投げ掛けると、思考に変化が見られた。生徒Aの「『議会政治』で国民から様々な意見が出せたからこそ、『産業革命』が生まれたのでは」という発言に、班員全員が納得し、結果、図2のような結論に至った。その後、生徒Aはそれまでの学習を基に、図3のように論述を行った。

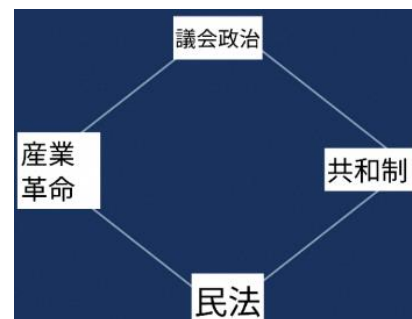


図2 生徒Aの班のダイヤモンドランキング

近代化とは、議会政治、人権宣言、産業革命だと思いました。
 国民が国のトップに不満を持ってしまうと、トップが殺されたり、従わないと思います。そのためは国民が自分も政治に関わらなくてはと考え、国民がしんらいした国のトップをつくり、そのトップは国民を第一として考え、お互いで支えあう関係にならなければいけません。そこから、国民に人権を宣言したり、産業革命が生まれ、国が発展していくと思いました。

図3 生徒Aの単元を貫く学習課題への論述

単元の導入時から近代化のイメージを「（政治が）民主的になること」と考えていた生徒Aは、班での意見交換を通して、自分の考えを支える根拠を明確にし、自信を強めていった。また、民主政治への変化と、人権の保障や産業革命がつながっていると気づき、自分の考えと他者の考えを関連付けて表現した。このようにして、生徒Aは、単元を貫く学習課題「近代化とは、どのような変化なのだろうか」について、多面的・多角的に捉え、概念的に理解することができた。

(3) 今後の課題

① 単元を貫く学習課題の追究における表現活動の位置付け（単元シート）について

本研修におけるテーマは、生徒の表現力の向上にあった。単元シートは、毎回の授業で、単元を貫く学習課題の解決に向けて、自分の考えを構築する上で必要な学習の成果を蓄積することができた。

しかし、二つ目の評価目標（定期テスト）の達成率が、目標に大幅に届かなかった点が大きな課題となった。理由としては、単元シートに自分の考えを表現したものの、理解が不十分だった生徒が少なくなかったこと、また、単元の課題と定期テストの問題の内容の違いが大きかったことなどが考えられる。生徒Aも、解答を記述したものの、完全な正答ではなかった。

今後は、評価問題を事前に構想し、生徒に身に付けさせたい資質・能力を明確にして授業を進めるとともに、単元シートを見て、理解不十分な生徒に個別の支援を行っていききたい。

② 思考ツールの活用について

本時では、生徒たちから国の発展にとって重要な「近代化による変化」として、「共和政」「人権」などの概念が挙げられる一方、「ナポレオン法典」「人権宣言」などの歴史的事象も挙げられ、概念と歴史的事象の区別があいまいなまま、意見交換が進んでしまった。

今後、思考ツールのダイヤモンドランキングを活用する際は、同じ土俵で話し合えるように、何を比べる対象とするのかを明示するよう留意する。また、生徒から「議会政治」や「共和政」という発言があったら、教師が「民主政治」という概念にまとめることなども、学級全体でかみ合った話し合いを進めるうえで重要だと考える。

<参考文献>

- ・七里広志『思考ツール×パフォーマンス課題でつくる中学校社会科授業』明治図書、2022